



## 2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2019年11月12日

上場取引所 東

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社

コード番号 6118

URL <http://www.aida.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役会長兼社長

(氏名) 会田 仁一

問合せ先責任者(役職名) 常務執行役員 管理本部長

(氏名) 鶴川 裕光

(TEL) 042 (772) 5231

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日~2019年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	34,274	△15.0	3,027	29.7	3,201	20.8	2,261	30.3
2019年3月期第2四半期	40,311	23.1	2,334	△18.9	2,651	△6.5	1,735	△11.0

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 777百万円(△62.9%) 2019年3月期第2四半期 2,096百万円(△46.6%)

	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益	
	円	銭	円	銭
2020年3月期第2四半期	37	23	37	16
2019年3月期第2四半期	28	13	28	06

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%	円	銭	
2020年3月期第2四半期	104,213		74,010		70.3	1,230	28	
2019年3月期	111,564		77,206		68.5	1,238	41	

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 73,259百万円 2019年3月期 76,453百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金					
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計	
	円	銭	円	銭	円	銭
2019年3月期	—	—	—	30.00	30.00	—
2020年3月期	—	—	—	—	—	—
2020年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日~2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
通期	72,000	△14.4	6,350	14.2	6,500	10.5	4,650	0.3	77	31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 (注) 詳細は添付資料9ページ「(4)四半期連結財務諸表に関する注記事項」の「(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2020年3月期2Q	71,647,321株	2019年3月期	71,647,321株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	12,100,754株	2019年3月期	9,912,330株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2020年3月期2Q	60,749,387株	2019年3月期2Q	61,703,410株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10
3. 補足情報	11
受注の状況	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済については、先進国・新興国ともに減速傾向が鮮明となっております。今後も貿易摩擦やイギリスのEU離脱問題、地政学的な緊張の高まり等、国内外で景気の下振れリスクは拭えない状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、国内、海外ともに受注が減少し、当第2四半期連結累計期間の受注は前年同期比33.9%減の64,677百万円（一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 プレス系機械受注額）となりました。

当社グループの当第2四半期連結累計期間の実績については、自動車関連顧客の設備投資鈍化の影響でプレス機械受注が減少し、受注高は29,621百万円（前年同期比32.8%減）、受注残高は46,280百万円（前年度末比9.1%減）となりました。売上高は、特に中国・米州・欧州での自動車関連向けプレス機械売上の減少等により、34,274百万円（前年同期比15.0%減）となりました。

利益面では、減収影響があったものの、原価率の改善と販管費の減少により営業利益が3,027百万円（同29.7%増）、経常利益は3,201百万円（同20.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は2,261百万円（同30.3%増）となりました。

セグメント毎の経営成績は以下のとおりであります。

日 本： プレス機械売上、サービス売上とも堅調に推移し、売上高は24,281百万円（前年同期比6.0%減）となり、セグメント利益は原価率の改善等により2,291百万円（同122.6%増）となりました。

中 国： 自動車関連向けプレス機械の売上減少により、売上高は2,835百万円（前年同期比53.0%減）となり、セグメント利益は24百万円（同92.0%減）となりました。

アジア： プレス機械売上、サービス売上とも堅調に推移し、売上高は4,267百万円（前年同期比7.5%減）となり、セグメント利益は原価率の改善等により586百万円（同5.5%増）となりました。

米 州： サービス売上が増加したものの、自動車関連向けプレス機械の売上が減少し、売上高は5,797百万円（前年同期比32.2%減）、セグメント利益は317百万円（同13.8%減）となりました。

欧 州： 自動車関連向け中・大型プレス機械やサービス売上の減少等により、売上高は5,740百万円（前年同期比22.9%減）となり、セグメント損益は粗利率は改善したものの減収等により52百万円の損失（前年同期は41百万円のセグメント損失）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の資産については、前年度末に比べて7,351百万円減少し、104,213百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少3,670百万円、受取手形及び売掛金・電子記録債権の減少2,241百万円等であります。

負債は、前年度末に比べて4,155百万円減少し、30,203百万円となりました。主な要因は、買掛金及び電子記録債務の減少2,756百万円、前受金の減少970百万円等であります。

純資産は、前年度末に比べて3,195百万円減少し、74,010百万円となりました。主な要因は、自己株式の取得による減少1,997百万円、為替換算調整勘定の減少1,203百万円等であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は70.3%となりました。

②キャッシュ・フローの分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、資金という）は、前年度末と比べ3,163百万円減少し、27,470百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動により取得した資金は1,668百万円（前年同期は1,254百万円の収入）となりました。主な要因は、収入として税金等調整前四半期純利益3,156百万円、売上債権の減少1,567百万円、減価償却費1,064百万円、支出として仕入債務の減少2,269百万円、たな卸資産の増加1,530百万円等であります。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動により使用した資金は28百万円（前年同期は103百万円の支出）となりました。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動により使用した資金は3,976百万円（前年同期は1,961百万円の支出）となりました。主な要因は、支出として自己株式の取得による支出2,000百万円、配当金の支払額1,955百万円等であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

以下の通り2019年5月14日に公表しました2020年3月期第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）の業績予想値と、本日公表の実績値において差異が生じるとともに、2020年3月期（2019年4月1日～2020年3月31日）の連結業績予想を修正いたしましたので、お知らせいたします。

① 2020年3月期第2四半期連結累計期間の業績予想値と実績値との差異（2019年4月1日～2019年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 39,000	百万円 3,150	百万円 3,200	百万円 2,300	円 銭 37.26
今回発表実績値 (B)	34,274	3,027	3,201	2,261	37.23
増減額 (B-A)	△4,725	△122	1	△38	—
増減率 (%)	△12.1	△3.9	0.1	△1.7	—
(ご参考) 前期第2四半期実績値 (19年3月期第2四半期)	40,311	2,334	2,651	1,735	28.13

② 2020年3月期通期連結業績予想の修正（2019年4月1日～2020年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 79,000	百万円 6,350	百万円 6,500	百万円 4,650	円 銭 75.32
今回修正予想 (B)	72,000	6,350	6,500	4,650	77.31
増減額 (B-A)	△7,000	—	—	—	—
増減率 (%)	△8.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績値 (19年3月期)	84,082	5,561	5,880	4,634	75.10

③ 業績予想値と実績値との差異及び通期業績予想修正の理由

第2四半期連結累計期間における売上高実績値は、複数のプレス機械案件で納期が下期にずれ込んだこと、工事進行基準売上案件の工事が想定ほど進まなかったこと等により、当初予想値を下回る結果となりました。通期の売上高予想については、自動車関連顧客の設備投資鈍化の影響で、上期に見込んでいたプレス機械受注が想定を下回ったことから、当初予想を下方修正いたしました。利益については、上記の減収影響あるも、当初想定を上回る粗利率の改善や、販管費の削減等により減収影響が吸収されるため、通期予想に変更はありません。

※ 上記の業績予想は、発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	31,155	27,485
受取手形及び売掛金	22,859	20,448
電子記録債権	2,213	2,383
製品	2,761	2,771
仕掛品	9,814	11,288
原材料及び貯蔵品	3,914	3,590
その他	3,906	2,627
貸倒引当金	△231	△212
流動資産合計	76,396	70,382
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	25,102	25,124
減価償却累計額	△16,613	△16,757
建物及び構築物（純額）	8,488	8,366
機械装置及び運搬具	17,687	17,091
減価償却累計額	△10,451	△10,566
機械装置及び運搬具（純額）	7,235	6,525
土地	7,301	7,291
建設仮勘定	296	160
その他	3,578	3,569
減価償却累計額	△2,967	△2,995
その他（純額）	610	573
有形固定資産合計	23,932	22,918
無形固定資産	800	776
投資その他の資産		
投資有価証券	6,808	6,389
保険積立金	2,219	2,291
退職給付に係る資産	856	871
繰延税金資産	405	455
その他	178	160
貸倒引当金	△32	△32
投資その他の資産合計	10,435	10,135
固定資産合計	35,167	33,830
資産合計	111,564	104,213

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	6,806	5,015
電子記録債務	4,671	3,706
短期借入金	2,491	2,360
1年内返済予定の長期借入金	500	500
未払金	1,123	663
未払法人税等	617	1,005
前受金	8,291	7,320
製品保証引当金	596	596
賞与引当金	1,080	1,080
役員賞与引当金	44	46
受注損失引当金	56	49
その他	2,148	2,019
流動負債合計	28,428	24,365
固定負債		
長期借入金	1,000	1,000
長期未払金	817	902
繰延税金負債	2,024	1,807
株式給付引当金	401	449
退職給付に係る負債	1,385	1,405
その他	300	271
固定負債合計	5,929	5,837
負債合計	34,358	30,203
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	7,831	7,831
資本剰余金	12,415	12,415
利益剰余金	55,777	56,084
自己株式	△4,230	△6,227
株主資本合計	71,793	70,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,617	3,317
繰延ヘッジ損益	△1	46
為替換算調整勘定	645	△558
退職給付に係る調整累計額	398	350
その他の包括利益累計額合計	4,660	3,156
新株予約権	139	139
非支配株主持分	613	611
純資産合計	77,206	74,010
負債純資産合計	111,564	104,213

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年4月1日 至2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)
売上高	40,311	34,274
売上原価	33,214	26,792
売上総利益	7,097	7,482
販売費及び一般管理費	4,762	4,454
営業利益	2,334	3,027
営業外収益		
受取利息	51	54
受取配当金	103	114
養老保険満期償還益	12	0
保険解約返戻金	166	—
為替差益	—	11
その他	64	68
営業外収益合計	398	249
営業外費用		
欧州事業再編費用	—	27
支払利息	17	16
為替差損	20	—
その他	43	31
営業外費用合計	81	75
経常利益	2,651	3,201
特別利益		
固定資産売却益	20	2
特別利益合計	20	2
特別損失		
労働災害関連損失	—	26
固定資産売却損	0	—
固定資産除却損	161	21
その他	4	—
特別損失合計	166	47
税金等調整前四半期純利益	2,505	3,156
法人税等	749	876
四半期純利益	1,756	2,280
非支配株主に帰属する四半期純利益	20	18
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,735	2,261

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	1,756	2,280
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	227	△300
繰延ヘッジ損益	△99	48
為替換算調整勘定	234	△1,203
退職給付に係る調整額	△22	△47
その他の包括利益合計	340	△1,503
四半期包括利益	2,096	777
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,075	758
非支配株主に係る四半期包括利益	20	18

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,505	3,156
減価償却費	1,060	1,064
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△13	△9
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△74	14
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△126	6
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△8	1
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	11	△6
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△16	26
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△45	△83
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	47	47
受取利息及び受取配当金	△154	△169
支払利息	17	16
有形固定資産売却損益 (△は益)	△19	△2
固定資産除却損	161	21
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,395	1,567
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△1,276	△1,530
仕入債務の増減額 (△は減少)	959	△2,269
その他の資産の増減額 (△は増加)	168	187
その他の負債の増減額 (△は減少)	217	△449
その他	29	319
小計	2,047	1,910
利息及び配当金の受取額	154	168
利息の支払額	△17	△16
法人税等の支払額	△930	△394
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,254	1,668
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△28	△7
定期預金の払戻による収入	798	502
有形固定資産の取得による支出	△969	△596
有形固定資産の売却による収入	122	4
無形固定資産の取得による支出	△25	△35
投資有価証券の売却による収入	—	103
その他	0	0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△103	△28
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△0	△2,000
自己株式の売却による収入	0	—
配当金の支払額	△1,951	△1,955
非支配株主への配当金の支払額	△10	△20
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,961	△3,976
現金及び現金同等物に係る換算差額	△112	△827
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△924	△3,163
現金及び現金同等物の期首残高	31,721	30,633
現金及び現金同等物の四半期末残高	30,797	27,470

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2018年6月27日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	1,954	30.00	2018年3月31日	2018年6月28日

(注) 上記の配当金の総額には、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)に対する配当金103百万円を含んでおります。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動に関する事項

株主資本の金額は、前連結会計年度末日と比較して著しい変動はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1 配当に関する事項

(1) 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
2019年6月26日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	1,955	30.00	2019年3月31日	2019年6月27日

(注) 上記の配当金の総額には、資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)に対する配当金103百万円を含んでおります。

(2) 基準日が当連結会計年度の開始の日から当四半期連結会計期間末までに属する配当のうち、配当の効力発生日が当四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

2 株主資本の著しい変動に関する事項

2019年6月11日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式の取得を決議し、自己株式の取得を行いました。この結果、当第2四半期連結累計期間において自己株式が1,999百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末において自己株式が6,227百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、「法人税、住民税及び事業税」及び「法人税等調整額」を「法人税等」として一括掲記しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
外部顧客に対する売上高	16,767	5,611	2,316	8,368	7,248	40,311	—	40,311
セグメント間の内部売上高 又は振替高	9,073	422	2,298	179	193	12,167	△12,167	—
計	25,840	6,033	4,615	8,547	7,442	52,479	△12,167	40,311
セグメント利益又は損失(△)	1,029	312	555	367	△41	2,223	110	2,334

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント						調整額 (注)1	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注)2
	日本	中国	アジア	米州	欧州	計		
売上高								
外部顧客に対する売上高	17,939	2,402	2,676	5,658	5,596	34,274	—	34,274
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,341	433	1,590	138	143	8,648	△8,648	—
計	24,281	2,835	4,267	5,797	5,740	42,922	△8,648	34,274
セグメント利益又は損失(△)	2,291	24	586	317	△52	3,166	△139	3,027

(注) 1 売上高の調整はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失(△)の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

自己株式の消却

当社は、2019年6月11日開催の取締役会において、会社法第178条の規定に基づき、自己株式を消却することを決議し、2019年11月11日に消却を実施いたしました。

(1) 消却した株式の種類: 当社普通株式

(2) 消却した株式の総数: 2,198,900株

(3) 消却日: 2019年11月11日

### 3. 補足情報

#### 受注の状況

当第2四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	金額（百万円）	前年同期増減率（％）	金額（百万円）	前年度末増減率（％）
日本	14,400	△31.8	25,586	△12.2
中国	2,792	△49.7	5,655	7.4
アジア	3,316	7.3	3,286	24.2
米州	4,034	△44.0	4,568	△26.2
欧州	5,078	△28.6	7,183	△6.7
合計	29,621	△32.8	46,280	△9.1

（注）1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。